

げんきです！

2014年6月5日
ほけんだより “夏の感染症” 特集号
ノートルダム学院小学校 保健室

初夏の日差しが若葉に降りそそぐ頃となりました。学校では、夏服に衣替えした子供たちが、元気いっぱい汗びしょりになって遊んでいる姿を見かけます。これからの時期、熱中症に注意したいものです。こまめに水分摂取ができるよう、なるべくお子様に水筒をお持たせください。

さて、今月はいよいよプール学習が始まります。気候が暑くなると、疲れやすく、体調をくずしやすくなります。しっかりと睡眠・休息をとるように心がけ、毎日お子様が元気に過ごせるようご配慮ください。健康診断で目や耳、鼻、心臓の病気の疑いが見つかった人は、プール学習をしてもよいかどうかを病院で診てもらっておいてください。毎朝、お子様の健康観察も忘れずをお願いいたします。

誰にでもうつることのあるアタマジラミ

アタマジラミは接触感染をする感染症の一種で、季節を問わず、機会さえあれば、誰にでもうつる可能性があります。特に、保育園や幼稚園、小学校といった集団生活の場で拡がることの多い感染症です。幼児期や学童期は、頭や体を寄せ合って遊ぶ機会も多く、頭と頭が接触するなどしてうつります。タオルや寝具、帽子、くしなどを共用することでうつります。不潔にしているからではありません。予防と早期発見のために、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

〈ご家庭でお願いしたいこと〉

- *こまめに頭髪チェックをする。(特に、頭皮のかゆみがあるときは念入りに！)
- *毎日、洗髪をする。低学年や髪の長いお子様は、必要に応じて、大人が丁寧に洗う。
- *くしや帽子、タオルなどは共用しないようにする。

〈卵や成虫を見つけたら〉

- *医療機関の受診をお勧めします。駆除剤を使用し、完全に駆除できるまでは、根気よく駆除と頭髪チェックをする。
- *卵が付いている髪は全て切り取って、ビニール袋に密閉して捨てる。
- *家族内で感染していないかを確認し、もしも感染している場合は一斉に駆除をする。
- *部屋の掃除や布団干しをしっかりと行う。

〈卵や成虫の見つけ方〉

アタマジラミの卵は、耳の後ろやえりあしに付着していることが多く、髪の毛の根本近くに産みつけられています。



〈卵とヘアキャストの見分け方〉

卵

しずくのような形で、髪にしっかりとくっつき、なかなかとれない。



ヘアキャスト

指でつまんで簡単にとれる塊は、ヘアキャストというフケの一種。



夏に多い感染症に気をつけて！

◆プール熱 (咽頭結膜熱)

主な症状は高熱、結膜炎 (結膜の充血や目やに)、咽頭痛。飛沫感染する。感染力が強いので、医師の許可があるまで登校できません (出席停止)。

◆ヘルパンギーナ・手足口病

高熱と、口の粘膜にできる水ほうを特徴とする、夏風邪の一種。飛沫感染する。

◆とびひ (伝染性膿痂疹)

汗疹 (あせも) や虫刺されを掻きむしったり、転んでできた傷が二次感染を起こして「とびひ」になります。爪を短くするとともに、皮膚を掻きむしらないようにしましょう。

こんな場合はプールに入れません

○症状がなくなるまで泳げません。

アタマジラミ、胃腸の病気、月経、風邪、外傷

○担当医の許可がでるまで泳げません。

耳・鼻・のどの病気、目の病気、皮膚の病気 (とびひ・水いぼ)

～ 日頃から手洗い・うがいの習慣をつけましょう!! ～